

米沢工業会報



空想画を描き続けて

山形大学工学部を卒業後、東京都美術館や地元米沢などで絵を発表し続けています。

今回、縁あって表紙に載せていただけることになり、綺麗な風景画のような絵が良いのだろうかと思いつつも、そんな作品は1枚も見当たらず。(描いたことが無かった!!)

現在、数年かけて制作中の、横幅20mを超す空想の世界を俯瞰的に描いた絵の一部分を持ってきました。自然豊かな米沢の、さらに山奥で駆け巡って遊んでいた子供の頃に、突如、ファンタジー世界を舞台にした映画やゲームという娯楽に触れ、衝撃を受けたことが現在の制作に繋がっています。

主体美術協会会員 伊藤 博昭

第64号 2019.12.